

2019年5月13日

学校法人瓜生山学園 法人事務局 人事企画課

京都造形芸術大学、京都芸術デザイン専門学校、京都文化日本語学校、京都造形芸術大学附属高等学校

学校法人瓜生山学園 契約職員(事務局職員*専任職員[正職員]転換制度あり)の募集について

瓜生山学園は、2017年に創立40周年を迎えました。「芸術的創造と哲学的思索によって、世代や人種、国境を超えて集う学生たちと共に、良心を手腕に新しい人間観、世界観を創造し、未来への希望を育む土壌となる」という建学理念のもと、1977年に入学定員175名規模の短期大学を開設、現在では学園全体として約11,000名の学生を擁する総合芸術教育機関へと成長してきました。

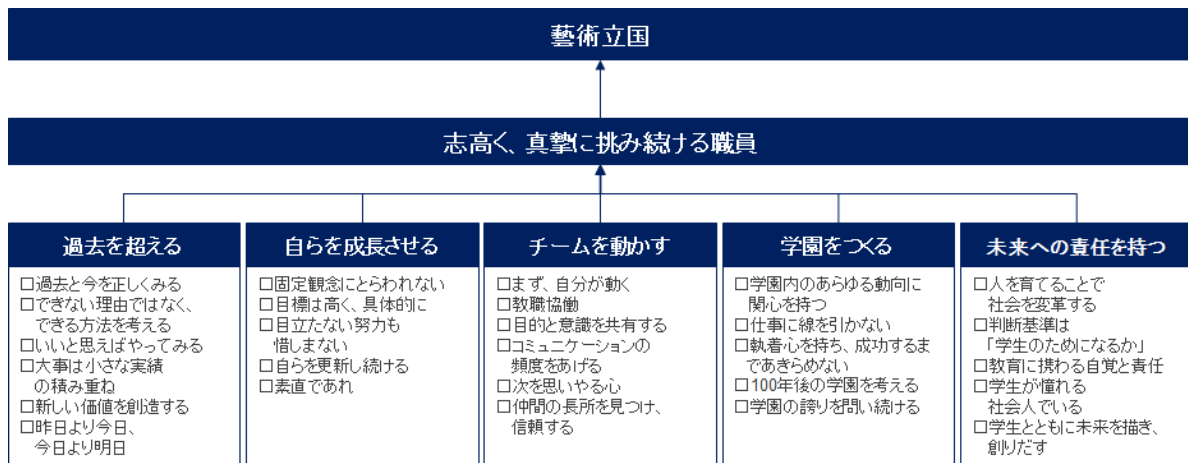
学園が事務局職員に期待する役割は、建学理念の具現化に向け、次の50年先、100年先も「つくり続ける学園」であるため、既成の観念に捉われないこと、新たな事業や組織開発のしほみを柔軟に企画立案し、新たな価値をつくりだすことや、常に問題意識を持ち、工夫、改善して業務に取り組み、学園の付加価値を高め、業務基盤を支えていくことです。職員というプロフェッショナルとして、現状に甘んじることなく、新たな知見を開く継続的な研鑽を続け、教員と両輪で学園づくりに携わっていくことが求められます。

建学理念に夢や思いを重ね、「つくり続ける学園」の成長に向けて主体的に考え、動き、支えていくことを通じて、自身のさらなる成長をめざし続ける旺盛な意欲を持つ皆さんのご応募をお待ちしています。

【瓜生山学園めざすべき職員像 5つの指針と27のキーワード】

2017年度に事務局職員の働き方や姿勢、考え方のなかから、働き方の指針として、『めざすべき職員像』を策定しました。

建学理念の具現化に向けて、日々の働き方の取り組み姿勢や行動を考え振り返る拠り所、チームワークを促進する共通言語として、これを体現していくことをめざしています。



【専任職員[正職員]転換制度】

契約職員(事務局職員)は、雇用契約期間の上限を3年間とした職制ですが、中長期的な視点で学園の将来によりコミットメントしていくことをめざす場合、次のキャリアの選択肢として、専任職員転換登用制度を設けています(2016年度より施行)。本制度は、1年に1度、3年間で3回、チャレンジの機会を等しく開き実施しています。

【2018年度実績(2019年4月1日からの転換登用者)】

専任職員転換登用希望エントリー者16名、うち専任職員転換登用者8名

【2017年度実績(2019年4月1日からの転換登用者)】

専任職員転換登用希望エントリー者28名、うち専任職員転換登用者6名

【2016年度実績(2017年4月1日からの転換登用者)】

専任職員転換登用希望エントリー者26名、うち専任職員転換登用者7名

！専任職員数108名のうち78名(72%)は、契約職員(事務局職員)からの転換登用者(2019年5月1日現在)

また、学園では、契約職員(事務局職員)も専任職員と同様に学園の成長を支える人材と捉え、補佐的な業務を担当する役割とは位置づけていません。

専任職員への転換登用の如何に関わらず、期間上限のある有期勤務のなかでも、次のキャリアに向けたスキルの獲得や人的ネットワークの拡大をはかることができるよう、以下2点の人材育成プログラムでバックアップしていく態勢を整えています。

- (1)業務遂行にあたっては、目標管理制度を主軸とした年次評価に取り組み PDCA サイクルを通じて成長をはかる
- (2)研修制度で成長をはかる(導入研修、ビジネススキル・知識習得研修、自己研鑽支援等)

【応募要領/勤務条件、待遇】

本学園では、2017年に、『瓜生山学園 Vision 2021 (瓜生山学園中期計画) ~「次代の芸術教育をリードする学園改革」』を策定しました。

契約職員からのスタートになりますが、専任職員(正社員)への転換を視野に入れ、次代をつくる本改革に取り組み、次代をリードしていただくことを期待し、人材を募集いたします。

(『瓜生山学園 Vision 2021 (瓜生山学園中期計画)』は、本文書末尾でご案内する URL よりご確認ください)

- | | |
|-----------|--|
| 1.募集職種 | 事務局職員 |
| 2.雇用形態 | 契約職員 *専任職員[正職員]転換制度あり |
| 3.職務内容 | <p>瓜生山学園の法人事務局の管理部門、学園が設置する京都造形芸術大学(通学課程、通信教育課程)、京都芸術デザイン専門学校、京都文化日本語学校の教学運営部門に関わる事務業務全般</p> <p><管理部門></p> <ul style="list-style-type: none"> ○施設管理・情報基盤管理
学園施設環境整備、環境負荷軽減マネジメント、防災・避難対策、情報・IT インフラの設計や構築、運用、管理、監視、保守、セキュリティ対策、等 ○総務・人事
労務管理、給与、福利厚生、安全衛生、コンプライアンス対応、採用、人事制度整備・運用 等 ○財務・経理
予算管理、決算、会計監査対応、学園資産管理 等 ○経営企画
学園事業計画策定・推進、法人統轄業務、自己点検評価、IR、知財関連業務、秘書業務 等 ○法人広報
パブリシティ活動、報道対応、大学広報誌の発行、公式 SNS・Web マガジンの運用 等 <p><教学運営部門></p> <ul style="list-style-type: none"> ○教学支援
学生生活支援[健康管理、奨学金、サークル・課外活動等]、
国際交流支援[交換留学、海外研修等]、
教育・研究活動支援[学生管理、履修・成績管理、教育改革推進等] ○キャリア支援
就職・進路支援 ○入学・教育開発
学生募集、マーケティング、学生募集イベント等の企画・運営、社会連携プログラム支援等 |
| 4.勤務地・配属先 | <p>瓜生山学園法人事務局(京都市左京区北白川瓜生山 2-116)
 京都造形芸術大学[通学課程、通信教育課程] (京都市左京区北白川瓜生山 2-116)
 京都芸術デザイン専門学校 (京都市左京区北白川上終町 24)
 京都文化日本語学校 (京都市左京区北白川瓜生山 2-116)
 京都造形芸術大学附属高等学校(京都市左京区北白川瓜生山 2-116)</p> <p>※配属先は、職務経験、適性を考慮のうえ、強みを活かしチャレンジができる
管理部門、教学運営部門のいずれかの部署に決定させていただきます</p> |
| 5.募集人数 | 若干名 |

- 6.応募資格
- ①大卒以上(短大卒で学士の有資格者も可)
 - ②2年以上の職務経験を有すること
 - ③本学の建学理念に賛同していただけること
- (建学の理念は、本文書末尾でご案内する『京都文藝復興』、『藝術立国』、『通信による芸術教育の開学にあたって』、『まだ見ぬわかものたちに』のURLよりご確認ください)
- ※第二新卒歓迎
 ※職務経験における業種、職種は不問です
- 業種、職種を問わず、以下のような、組織目標の達成に向けた主体的な業務実績や姿勢を持つ方を歓迎します。
- ・効果的な業務改善を企画立案し成果につなげた業務実績のある方
 - ・困難な課題に対しても、人を巻き込み解決して努力を続け、課題を克服した業務実績のある方
 - ・現状に甘んじることなく、キャリアビジョンを定め、新たな知見やスキルを得るために能動的に学ぶ姿勢や成長意欲をお持ちの方
- ! 契約職員の平均年齢は 36 歳 (2019 年 5 月 1 日現在)
- 学園には、異なる業種、職種からの多様な中途入職者の柔軟な発想や即戦力となるスキル、知識の発揮により、成長を促進させてきた組織文化があります。
 現在も、教育業界だけではなく、ソフトウェア開発会社のシステムエンジニア、ネットワークエンジニア、公共団体の施設管理、設備管理者、広告制作会社のディレクター/クリエイター、銀行の総合職/預金窓口業務、旅行会社のツアーコンダクター、会計事務所の経理、建築設計会社の企画営業/コンサルタント、ホテルスタッフ、人材コンサルティング会社の法人営業等、さまざまな業種、職種からの中途入職者が前職のキャリア、経験値を最大限に活かしながら活躍しています。
- 7.応募方法
- 下記、<応募書類>一式を、郵送にてご提出ください
 応募締切日、応募宛先は、以下 8.および 13.をご参照ください
- <応募書類>
- ①職員採用エントリーシート(指定書式[A4 サイズ用紙×2 枚]、写真貼付)
 - *必ず、指定書式「職員採用エントリーシート」を使用してください。
 - 「職員採用エントリーシート」は、以下よりダウンロードできます。
 - pdf 版 <https://www.kyoto-art.ac.jp/other/staff/submission/entry20190610.pdf>
 - word 版 <https://www.kyoto-art.ac.jp/other/staff/submission/entry20190610.docx>
 - ②職務経歴書(任意書式)
 - ③志望理由書(任意書式/800 字程度)
- ※②職務経歴書、③志望理由書には、指定書式を設けていませんが、A4 サイズの用紙を使用し、作成のうえご提出ください
 ※応募の秘密は厳守します
 ※応募書類は返却いたしませんので予めご了承ください
 ※応募にあたってご提出いただいた個人情報には本学規定にしたがい適切に管理し、採用選考の目的以外には使用しません。また、不採用、応募者の辞退にともない採用活動を終了した場合は、本学の責任のもとで、応募書類・個人情報を速やかに廃棄・消去します
- 8.応募締切 **2019 年 6 月 10 日(月)【必着締切】**
- 9.選考プロセス
- 応募締切日以降、以下の選考プロセスにしたがって進めていきます
 *書類選考は応募締切日以降に行います(結果通知は 2019 年 6 月 18 日(火)以降予定)
 *応募・選考に関わるご連絡はエントリーシートに記載された e-mail アドレス宛に行います。
 記載漏れ、間違いのないよう記載してください。書面郵送での通知は行いませんので、予めご了承ください。
- 【step1】書類選考 2019 年 6 月 11 日(火)～6 月 17 日(月)
 【step2】一次面接・筆記試験 2019 年 6 月 22 日(土)、6 月 23 日(日)
 【step3】二次面接(最終選考)2019 年 6 月 29 日(土)
 【内定】
 ※選考日程は変更になる場合があります
- 10.採用日 2019 年 8 月 1 日付(応相談)

11.条 件

給与	月額 205,000 円 以上 ※職務経験を考慮し、本学規定により決定
諸手当	住宅手当 月額 15,000 円(世帯主のみ) 家族手当 (1)満 18 歳未満の子/月額 10,000 円(被扶養者のみ) (2)障害等級 1 級、要介護 3 以上/月額 5,000 円(被扶養者のみ) 通勤手当 6ヶ月定期代 年 2 回支給(限度額/月額 35,000 円) 超勤手当 有
賞与	年 2 回(6 月・12 月*2019 年度実績)
勤務時間	9 時 00 分～17 時 30 分(実働 7 時間 30 分) *時差勤務や超過勤務の場合もあります *残業(超過勤務)月平均 20 時間程度
休日・休暇	完全週休 2 日制(土・日曜日)、国民の祝日 *土・日曜日、祝日出勤(振替休日取得)の場合もあります 特別休暇 8 日/年 年末年始休暇 2017 年度実績/2017 年 12 月 28 日(木)～2019 年 1 月 5 日(金) 有給休暇 有(初年次 10 日/年) 育児休業および介護休業制度有
退職金	なし
その他	私学共済(健保・年金加入)、雇用保険および労災保険、健康診断の実施、私学共済の契約施設の利用(直営宿泊施設の利用や、百貨店・専門店などの利用割引、宿泊施設・厚生施設・スポーツ施設の利用補助等)、学費減免制度(藝術学舎(京都、大阪、東京)、京都造形芸術大学通信教育課程等)

※2019 年度の年間休日数 130 日(有給休暇含めず)

【契約職員(事務局員)/年収例】

370 万円/25 歳(入職 1 年目[入職時の職務経験年数 3 年])

*上記年収には、給与のほか、賞与(年 2 回)、住宅手当、残業(超過勤務)手当(20 時間/月想定)を含みます

【専任職員[(事務局員)/年収例 契約入職後⇒専任職員[正職員]転換登用】

700 万円/35 歳[役職/課長](入職 5 年目、*入職 3 年目に専任職員転換登用)

*上記年収には、給与のほか、賞与(年 2 回)、住宅手当、家族手当(満 18 歳未満の子/1 人)、役職手当を含みます

学園では、サステナビリティとして、人事制度を重視し、育成評価、処遇のルールとガイドラインを定めています。年齢、勤続年数、性別等の属人的要素ではなく、常に、現在、担っている業務の役割において、果たした貢献の大きさを評価し、これに基づく人材任用と報酬決定を徹底しています。

12.契約期間

2019 年 8 月 1 日～2020 年 3 月 31 日

※契約更新は、業務実績等に応じて双方合意の上、年度単位で行い、原則 3 回まで可能

※試用期間は採用日から 3 ヶ月(試用期間における勤務条件、待遇も上記 11.と同様)

13.応募宛先

応募封筒の表面に「契約職員(事務局職員)」と朱書きで明記のうえ、

応募書類一式を郵送にてご提出ください。

〒606-8271 京都市左京区北白川瓜生山 2-116

学校法人瓜生山学園 法人事務局 人事企画課 採用係

14.問い合わせ先

電話 TEL 075-791-9122(代表)/人事企画課(平日 9:00～17:30)

e-mail: jinji@office.kyoto-art.ac.jp

- ◆ご応募の前に、必ず本学 web より、『瓜生山学園 Vision 2021 (瓜生山学園中期計画)』、『京都文藝復興』、『藝術立国』、『通信による芸術教育の開学にあたって』、『まだ見ぬわかものたちに』をご一読ください。

URL: 『瓜生山学園 Vision 2021 (瓜生山学園中期計画)』 <http://www.kyoto-art.ac.jp/info/pdf/vision2021.pdf>

『京都文藝復興』 <http://www.kyoto-art.ac.jp/info/about/philosophy/pdf/hukkou.pdf>

『藝術立国』 <http://www.kyoto-art.ac.jp/info/about/philosophy/pdf/artsnation.pdf>

『通信による芸術教育の開学にあたって』 <http://www.kyoto-art.ac.jp/info/about/philosophy/pdf/tsushin.pdf>

『まだ見ぬわかものたちに』 <http://www.kyoto-art.ac.jp/info/about/philosophy/pdf/young.pdf>

【法人情報】

法人名	学校法人瓜生山学園 京都造形芸術大学 https://www.kyoto-art.ac.jp/ 京都芸術デザイン専門学校 http://www.cdc.ac.jp/ 京都文化日本語学校 http://www.kicl.ac.jp/jp/ 京都造形芸術大学附属高等学校 https://shs.kyoto-art.ac.jp/ 認可保育園 こども芸術大学
設立	1977年
代表者	理事長 徳山豊
従業員数	449名(職員195名、教員254名)2019年5月1日現在 職員内訳 1.専任職員[正社員]108名[男性47、女性61] 2.契約職員[事務職員(一般職)]44名[男性6、女性38] 3.契約職員[副手・技術員(技能職)]43名[男性13、女性30] ※今回募集の契約職員(事務局員)は、上記2.に該当します
事業所	◎法人事務局/京都府京都市左京区北白川瓜生山2-116 ◎キャンパス/瓜生山(京都市左京区)、東京外苑キャンパス(港区北青山)、 大阪サテライトキャンパス(大阪市北区) ◎海外事務所/ソウル事務所(韓国)、台北事務所(台湾)、上海事務所(中国) ◎姉妹校/東北芸術工科大学 ◎国際学生交流協定締結校/弘益大学校(ソウル)、国立台北芸術大学(台北)、 ウィーン美術アカデミー(ウィーン)、ボーンマス芸術大学(ボーンマス)等、13カ国22校
事業内容	京都造形芸術大学をはじめとする教育・研究に関わる諸事業。 1977年に短期大学を開設以降、大学、大学院をはじめ、 1998年には日本初の芸術系4年制通信教育部、 2013年にはインターネットでの学びに特化した芸術教養学科を設置するなど、 『芸術立国』の建学理念に基づき、学園の使命および将来構想を明確にし、 たゆまぬ革新と成長を続けています。 2013年京都芸術デザイン専門学校、京都文化日本語学校と法人合併 2019年4月1日京都造形芸術大学附属高等学校(広域通信制課程[単位制]普通科、 認可保育園こども芸術大学を開設 ※各設置校および各教育課程の間で教育手法、教育成果を共有し、学園全体の教育力向上をはかっています

以上